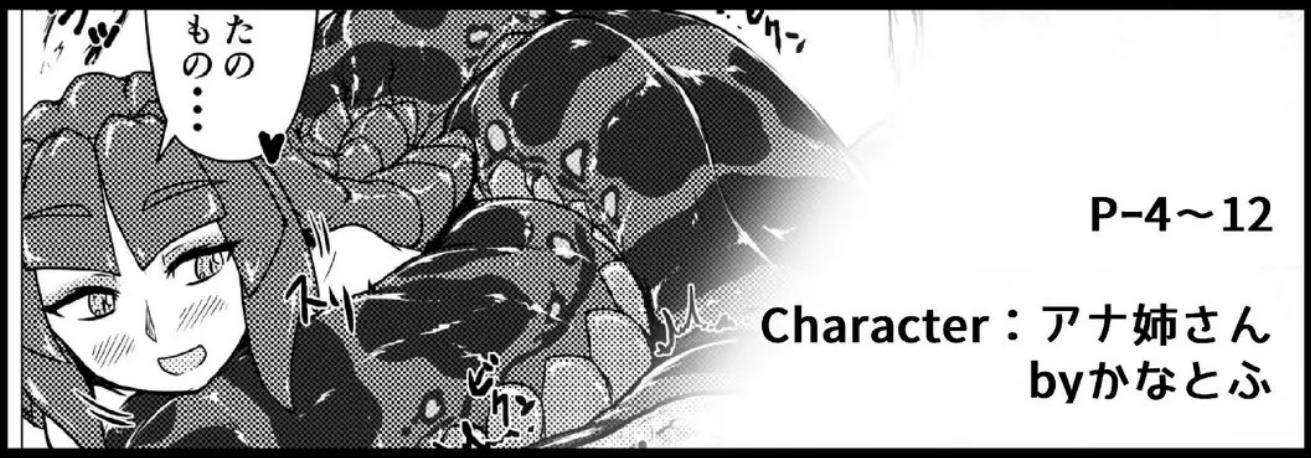

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止
ぼあ★ラミ
～ウチの子ラミア丸呑み合同誌～

-目次-



P-4～12

Character：アナ姉さん
byかなとふ

P-13～19

Character：ヨーちゃん
byオザワヨシ



P-20～28

Character：ニョロ美
byばんこく堂



P-29～37

Character：よのよさん
byよゐくま

森の教会にて

どうぞ

コトッ

えっと、どこから話せば…？
お姉様との出会いからですね

ギッ…

ふふ…
とても興味がおありのようで…
少し長くなってしまいますが、
お話致しましょう

ズズ…

あれは数年前、
教会に飾る花を摘みに
森へ行った時の事…
日当たりの良い場所で、
私はお姉様を見かけて
しまったのです

…!?

ビクッ

街で噂を聞いていた女性の体と蛇の体が
合わさった様な魔物…
優しげな表情で私を見つめていましたが、
蛇の様に鋭い眼光に捕らわれた私は
身動きを取る事ができませんでした

あらあら…
可愛らしい娘ね♪

プルンッ


大丈夫よ
逃げないで…
シュルッ
シュルッ
シュルッ
えっ!?
動けない私はあっという間に全身を
蛇の体で巻き取られてしまいました
ふわっと巻かれていたのですが、
手足を動かしてもビクともしなくて…
まるで冷たい筋肉の牢獄の様でした
こんな可愛い子と出会える
なんて何年ぶりかしら♪
ドキッ
ギュッ
ギュッ
ギュッ
ギュッ
ねぇ、お姉さんと
楽しい事しましょう?

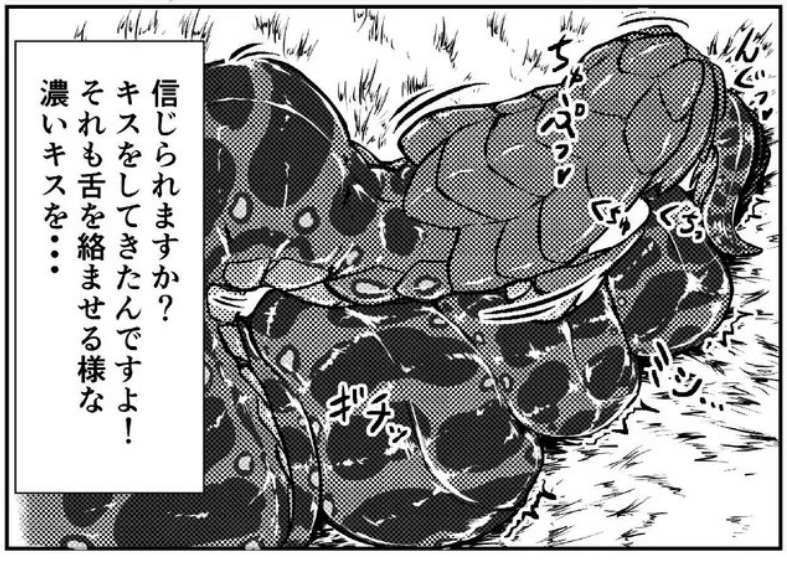

ギリッ
メキッ
ギ
ウ
ミシ
お姉様の言葉と同時に
締め付けが段々強く
なっていって・・・


締め付けによる痛みと同時に、
骨が軋み、筋肉が潰れ、血が沸き立つ、
その全てがギリギリの力加減で・・・
ギ・・・
後ちょっと力が入ると全身が潰れて
私は死んでしまう
あの時はそんな極限状態でした・・・


それなのに
お姉様は・・・
余裕の表情で私を眺めていて、
自分にはもう自由は無いと
本能で感じました・・・

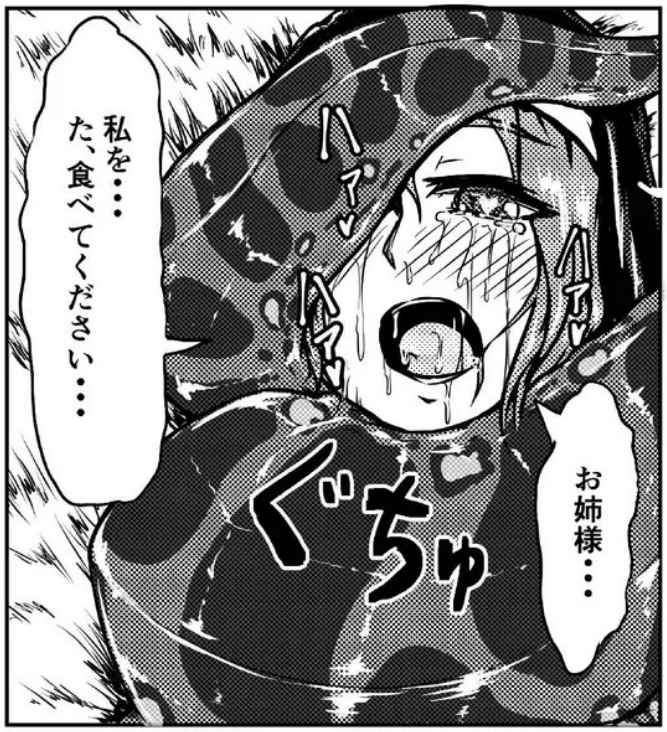

そんな状況で辛うじて
息をする私に対して
お姉様は・・・
くちゅ
んっ!?
ヒュー!ヒュー!
ミシ
ギチッ


ぬちゅ
くちゅ
にゅる
にゅる


信じられますか？
キスをしてきたんですよ！
それも舌を絡ませる様な
濃いキスを・・・
ちゅぱっ
ぐちゅ
ミシ
ギチッ


酸欠と熱いキスで朦朧とする意識の中、
私は全身でお姉様に教え込まれました・・・
「誰が捕食者」で「誰が獲物」なのかを、
私は逃げられない、逆らえない、彼女の所有物なのだと
その事を理解した瞬間、
自然と私の脳裏にある言葉が浮かび
それを彼女に懇願していたのでした・・・


・・・てください・・・
食べ・・・さい・・・


ハァハァ
ハァハァ
ぐちゅ
お姉様・・・
私を・・・
た、食べてください・・・

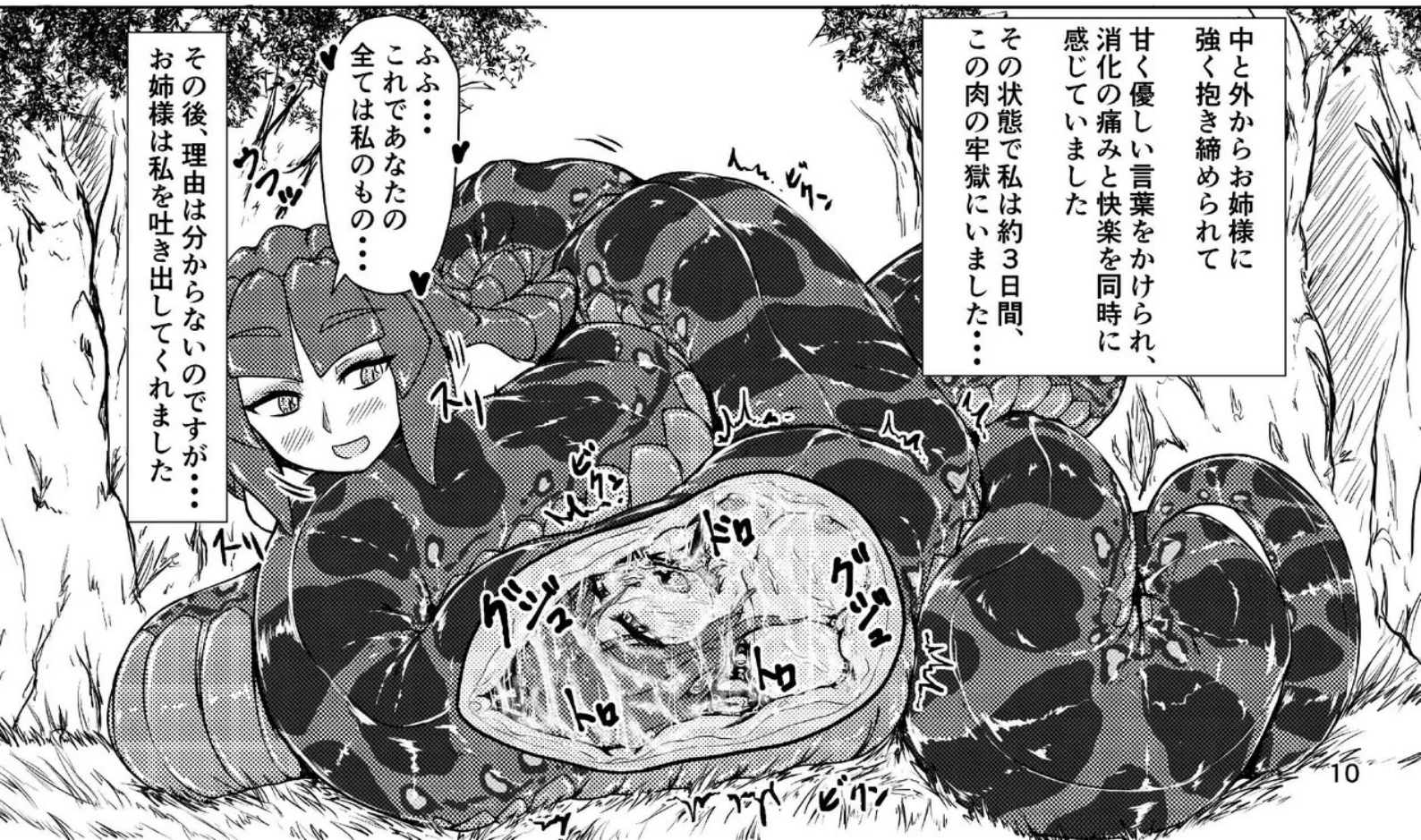

よく言えました♪
ニヤッ


ふふ…
おかしいですよね
いつの間にか
自らお姉さまのご飯になる
事を望んでいたんです…
クスッ
ええ、嘘ではありません
確かに呑み込まれて、
そして吐き出されました
お姉様の口は人間で言う鎖骨部分
にある事はご存知かと思います
ぐぽ…
プルン


口を大きく開いたお姉様の姿は
強い野生の威圧感に溢れていて、
それでも表情は優しげで…
ニコッ
さぁ、おいで…
お望み通りあなたの全てを
私が呑み込んであげるわ♪
ぬるっ
ぬるっ
ガパァ
あの時の私は、
その姿にすっかり
心を奪われていて…
肉感あふれる口の奥に
入って行く自分の姿を
想像してしまって
内心すごく興奮して
いました…
ドキ
ドキ
ハァ
ハァ


私は頭から呑み込まれていきました
グッグッ…
ベロンッ
お姉様の体を伸ばす様に無理やり押し込まれて…
ビクンビクン
ゴプン
ジュプ
ボコォッ
呑まれた後の私は丁度こんな感じで収まっていました♪
てれっ
ギュッ
身動きも取れない状態のまま消化液に漬け込まれた私の体は…
トクン
クチュ
ドロ…
ハァハァ
ヌチュ
ムチュ
ドクン
トロ
トクンッ
狭いけど柔らかい体内で私は抵抗する事も許されませんでした
んぐっ
ギュム
ギュム
コポポ
心地よい感覚の中で全身が柔らかく蕩けていきました
そして、全身が圧迫されて段々と小さく丸められた頃…
タプンッ


身体が突然内臓に搾り出されるように締め付けられて、
更に体内の奥に呑み込まれていったのです
ドクン
ズリュッ
トクン
ギュッ
お姉様によると
胃袋は2つあって
ゴクン
その2つ目の胃袋に
送り込まれたらしいです
ゴクン
たどり着いた先は
細長い肉の袋の様で・・・
獲物を完全に消化する為の
より激しい脈動と消化液で
満たされた空間でした・・・
タプ
タプン
ズズズズ・・・


中と外からお姉様に
強く抱き締められて
甘く優しい言葉をかけられ、
消化の痛みと快楽を同時に
感じていました
その状態で私は約3日間、
この肉の牢獄にいました・・・
ふふ・・・
これであなたの
全ては私のもの・・・
その後、理由は分からないのですが・・・
お姉様は私を吐き出してくれました
ビクン
ウフッ
グジュ
トロ


ほら、実際に消化された跡です
これは私にとっての聖痕・・・
お姉様の所有物であると認め
られた証と私は信じています♪
今では悩める人々を導き、
お姉様の祝福で救う
お手伝いをしています
ええ・・・
貴方だってそれを
求めて来たのでしょう？


貴方が訪ねてきた目的・・・
アナお姉様はここにいますよ
何を怖がっているのですか？
貴方もきっとお姉さまのお慈悲に触れれば、
身も心も全て捧げたくなりますよ♪
ふふ、可愛い子・・・♪
ねぇ、私のご飯になって
くれますか？
アナお姉様
さぁ、貴方にも神の祝福を・・・

アナ姉さん
Anaconda-nesan

アナコンダをベースとしたラミアのお姉さん。
おっとりとした雰囲気を持つが、本質的には蛇に近い為、
捕食の際は容赦なく襲いかかってくる。
腕はなく鎖骨下が巨大な口になっており、味覚用の
巨大な舌を持つ。基本的に女の子が好き、柔らかくて
美味しいらしい。
　2つの胃袋を持ち、第1胃で獲物を弱らせ、第2胃で
本格的な消化活動を行う。食欲旺盛な娘の為、頼めば
喜んで貴方を捕食してくれるだろう。




――試験体12号【以下試験体】は
少女の下半身が大蛇に咥え込まれた
ような外見をした試作段階のBOW
【バイオ・オーガニック・ウエポン】です。
ウヴヴヴー!
カッ
カッ
カッ
反政府組織の利用する異形生物兵器を
脅威に感じた政府が
軍研究部に対し同様の兵器の開発を求め、
秘密裏に進められた
通称BOWプロジェクトによって製造された
生命活動を有する唯一の個体となります。
開発コンセプトは人間の頭脳と大蛇の
隠密性、攻撃性を兼ね備えた生物兵器
というものでした。
ただし、試験体は人体と動物の
結合には成功したものの、
コンセプトに反して知能指数の
著しい低下が見られました。
相互の意思疎通は不可能であり
新兵器としての水準を
満たすものではありませんでした。
上層部も成果のあげられない
BOWプロジェクトに対して見切りをつけ、
予算の打ち切りを決定。
プロジェクトの凍結に併せて
試験体も処分対象となりました。

補遺621-A 事案1

処分直前、試験体の脱走が発生し
アウトブレイクとなる。
これに対して軍研究部は鎮圧に失敗。

試験体の攻撃性は
軍の要求通りの性能を有し
音もなく研究所内のダクトを移動し、
研究員を次々と――【処理済み】しました。

ひぃ……っ！
そんな嘘よ…！
や…やめ……！

グルル…

攻撃手段は蛇体による丸呑みと
単純なものですが、消化液の濃度を
自在に変動させることが可能で
濃度を高め遺体を残さずに消化し
暗殺用途に利用したり、

あるいは濃度を薄め
要人等を体内にて回収、拉致、保護等にも
利用できるものであるようです。

ハァ～ッ

わ、私はあなたの
母親なのよ…？

ね……？
お願い……っ！

この事案においては
研究員に対する過度な恨みによる興奮か
消化濃度は限界にまで高められており
数人の研究員がいたにもかかわらず
体内に遺体はおろか遺品の一つも
残ってはおりませんでした。

このアウトブレイクに対して
軍上層部の要請に従い
エイブラハム・A・山田大佐
【以下大佐】が事態の鎮圧に対応。

研究所内部のC廊下にて
消化活動にあたる試験体を発見。

研究データ並びに試験体の
回収が行われ事態は収束。
試験体は上層部の要求通り
適切に処理と報告。
事件は機密扱いになりました。

あ。

ア

保護管理は主に大佐の養子であり
元空軍所属のアヴィ・E・アトリー少尉
【以下少尉】によって行われています。

少尉による献身的な保護によって
試験体は3～4歳程度の知能を
獲得しています。

また、食事の際にあくびのように
大きく口を開けることから
ヨーン、ならびにヨーちゃん
と呼称されています。

しかし、試験体は大佐の独断により
研究所より回収した興奮抑制のユニットを
装着した上で自己所有の住宅にて隠匿、
並びに保護されています。

背景には試験体の製造に関し、
研究データ【file3】に記載されている
【人間の少女を素材として利用】
と関連があると思われます。


補遺621-A 事案2
アハァ～ン
また、試験体には上半身を蛇体消化管内部に
自由に移す能力を有し、これは潜入任務時に上半身を収納して
円滑な行動を行使するための機能でしたが、
体内に収めた獲物に対して上半身を使い消化液を刷り込み、
活発な消化活動を促すためにも用いられることが判明しました。
少尉は試験体と友好的な関係を
築いていたため消化活動は非常に穏やかであり、
肉体の消化までは至らず
帰宅した大佐によって救出されました
アヴィ元少尉の自室にて偶発的に発生。
意図しない事故によって
興奮を抑制するユニットが故障。
捕食欲求を抑えきれなくなった
試験体が少尉に対して捕食行動を行使。
この事案にて試験体の体液には
神経毒を有することが発覚、
少尉は抵抗もままならず
体内に納められました。
あ……ぅ
や……
やぁ…
はっ…
やめっ…
ONTROL DEVICE


補遺621-A 事案3
アヴィ元少尉と試験体による合意を得た捕食行動が発生。第二事案後、試験体は姿を隠し少尉から距離を置くようになる。
これは再び自分の手によって彼女を傷つけることを恐れたためと思われます。
関係の修復を求める少尉に対し大佐は少尉自身が第二事案を気にしていない意思を伝えるために今度は自ら自分を丸呑みするよう指示してみてはと提案しました。
これは落ち込む少尉に対するある種の冗談でありましたが、少尉は彼女を避け続ける試験体に対して痺れを切らし、ほかに代案のなかった彼女は大佐の冗談に乗ることになります。
——以下音声ログ
う……
ほら……早くしろよ……恥ずかしい……から……
ぅぅぁ……
なんでこんな事に……
優シク…呑ンデ……アゲルカラ……ネ…？
ニ……ン
イイノ…？ホントニ……？ジャアイクヨ……？口開ケテ……痛クナイ……？
ぐぐ……
あ……



少尉の性的絶頂を試験体が確認し、
体内より吐き戻され第三事案は終了。
双方の関係性は修復されたようです。

以上が試験体12号の報告
となるが、大佐並びに少尉は
試験体の存在を否認している。
現状、試験体に対する脅威は
認められないため、調査は停止。
今後は大佐の意向に
委ねることとする。


CONFIDENTIAL
暴走ヨーちゃん
嬉しヨーちゃん
ヨーちゃんあたま
バカだぞ！
ヨーちゃんおむね
ひかえめだぞ！
ヨーちゃんおてて
おおきいぞ！
Mode change!
ヨーちゃん


く…身体が痺れて動けない…
しび
毒か!?卑怯者め!!
卑怯だって？やだなー
メヌヌス
ボクは使えるものを使っただけだよー❤
グッグッ
ボクの二つ名知らないでしょ？
ズルリ
ボクはマ…狡知の毒蛇…マなんだからさー❤
ズルリ


わ、私の剣!?
ヒュッ
ポイ
ポイしちゃおうねー♪
やだなーこんなのでボクを斬ろうとしてたの？
野蛮だなーこんなん危ないからさ
さーて、これからが本番
これから君には罰として
ボクの食料になってもらいます
ロオ


ふ、ふざけるな！
誰が貴様などに!!
よいしょ
強がっても無駄だよ
指本動かせないでしょ
いつもは頭から
食べちゃうんだけど
さー
ガイツ
あ～～
足からゆっくりと
丸呑みにしてあげる
キミみたいな娘の
怖がる顔が見たいし
チパァ


ズ
ビクッ
――ヒッ!?
ズキッ
グッ
ビッ
グビッ
ボコッ
ズルルル


うわっ!?
ヌルヌルした肉に包み込まれながら
どんどん食道の奥に送り込まれている…
い、嫌だ！こんな化け物なんかに!?


――ああ
もうダメだ
こんな化け物の
餌に私は
なってしまった…
全身が柔らかくて
温かい肉に
包み込まれて…
ギチュ
ズル…
ヌグ
グ
ポッ
化け物
――め
ゴクン
ボコッ
私を消化しようと
奥へ奥へと
送り込んでいく


ズルッ
ヌルッ
うわあっ!!
クン……
あー
おいしかった♪
ボフッ
ガルルル
ゴボッ
キミ、背が高いからねー
お腹きつくなっちゃうから
一気に蛇体まで行って
もらったよー❤


化け物の胃袋に締め上げられて…
ドクン
ドクン
グルルル
ドクン
すまないアルト…
アハ、ボクの胃はどうかな？
消化されるまでゆっくり楽しんでね
お、連れが来たみたいだね
さーて、どんな味がするのかな？
ムフーッ
フーッ
早くしないと消化しちゃうよー♥
ゴロロ
グプッ

ニョロ説



本名(?)は『狡知の毒蛇・マハ』
最初は狡猾だったんだけど気にしない。
魔王城に入るために必要な7つのオーブのうちの一つ、「蛇のオーブ」を護るいわゆる魔王軍の中ボスの一人。
とはいえ魔王に対して特に忠誠心とかは無く、その日その日が楽しきゃそれでいいと思ってる享楽主義者。
一言でいえばエッチ大好き。

狡知の名に恥じずダンジョンはトラップだらけ、本人も肉弾戦よりも毒やら麻痺やらのデバフを駆使した特殊攻撃や地形を生かした立体的な攻撃を駆使してくる。得意な武器は槍と弓。
ボス戦よりもそこに辿り着くまでの方がしんどいタイプ。

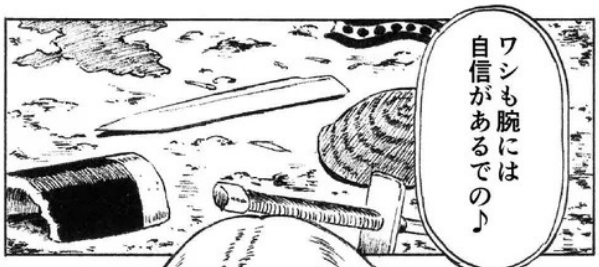
丸呑みに関しては男女問わず捕食対象だと思っている。その辺はモンスター娘ですので。
ただ後に勇者様御一行の仲間になった後は捕食を控えるだけの分別はあります。

製作者としてはおっぱい、蛇、ショートヘアと自分の欲しいものを詰め込んだお気に入りキャラです。おかげさまで好評を頂いているようなのでありがたい限りですわ。

ぶんぶく堂


ほ〜ぉ
かわら版に
ワシのことをのぅ
相変わらず
人間は奇特な事が
好きじゃのぅ
で？
ワシに何を
聞きたいのかの？
ふむ…
今まで出くわした中で
印象に残っとる人間か…
つまり…
ワシとひとつになった
人間どもの中で…
ということよな？
そうさなぁ〜
この姿になって長いし
いろんなヤツをモノに
してはきたがのぅ
インタビュー・トウ…
byよぬくま
そうは言ぅても
ワシにも好みはあるし
誰それ構わずという
ワケではないからの
毒にも薬にも
ならなそうなヤツは
ホレ
その辺に転がっとる
しかし困ったのぅ
あまりに多くて
すぐには思い
浮かばんわさ
どういう奴らと
出くわすかを
話すことでカンベン
してほしいのぅ
まぁ
ワシの所に
好き好んで来る者など
そうそうないからの
出くわす者の
種類も限られる
くにゅ


まぁまずは
ワシを倒そうと
やって来る奴ら
じゃな
そういう連中は
男が多いから
げんなりすることが
多いんじゃが
まれに気丈な
女子がやって
くるのよな
そういう時は
めっけもん
での


ワシも腕には
自信があるでの♪

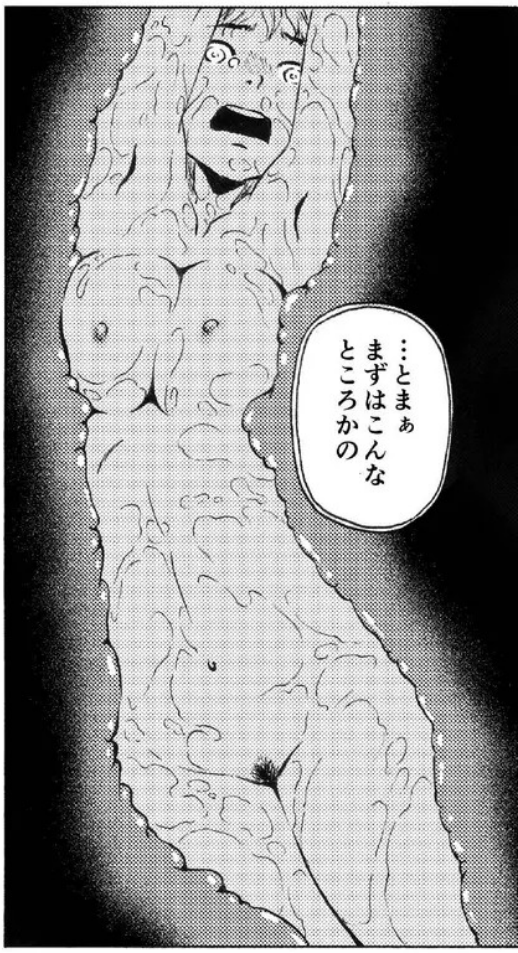

命など惜しくない
という連中が
まともには死ねぬと
悟ってからの
悪あがきは
見ものじゃぞ
何しろ奴らは
生き死によりも
生き様死に様を
何よりも尊ぶからの


ワシも
機嫌よく
つき合ぅて
やるんじゃ


みな
腕に自信が
あるんじゃろうが


どの女も
こんなのはイヤだと
泣きついてくる
有り様だったのぅ







他に多いのは…
迷い子じゃな




背格好も小さいから
するするっと胎内に
消えていきよる童に
苦しいのは最初だけ
すぐに家に帰れると
囁いてやれば
あの年頃のもんは
あっさりと
受け入れるのよ
そして
それを信じて
なのか否か


あるいは
母親の胎内に
いた頃の記憶が
近いせいなのか
その身を
委ねるまでが
早い者が多い
ように思うのぅ


おぉそういえば
ちょっと
変わったもんでは

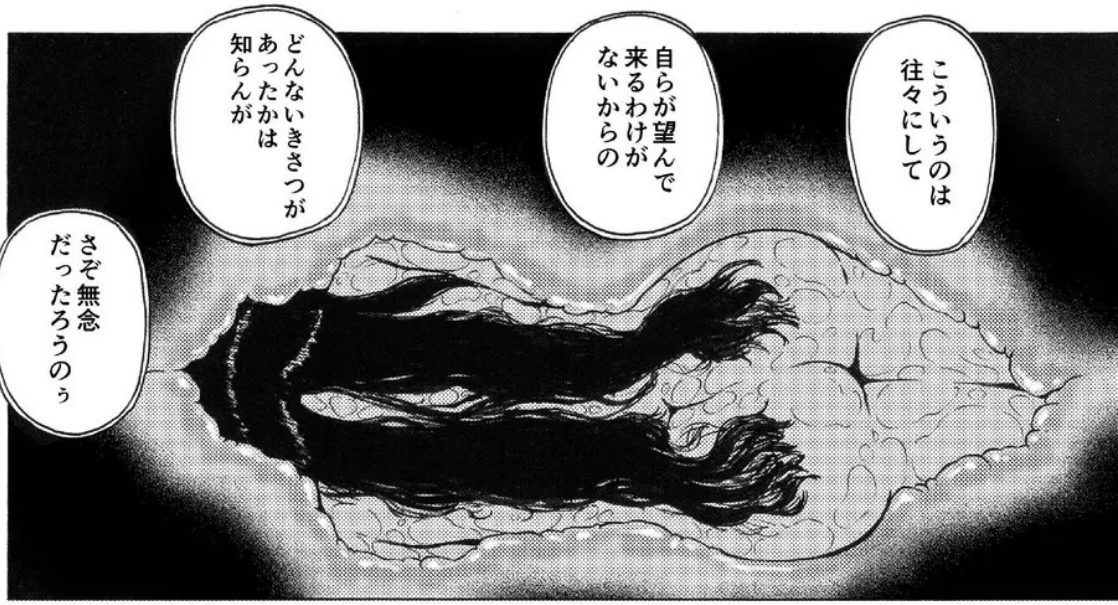

自分がどうなるか
分かっておるん
じゃろうのぅ
一部の者は
勝手に下準備を
始めよるんじゃ


村の厄災を
ワシに収めて
もらうために
その供物として
ワシの所へ来た
と言うのが
少なからずおってな



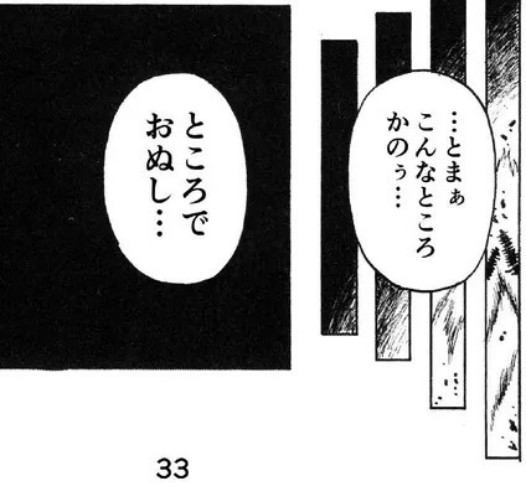

ワシを
頼られても
困る
ワシャ神様でも
何でもないぞと
言うてやっても
聞き入れぬ
自分にはもう
帰る場所はない
どうか村をお助けください
の一点張りでの
まぁワシも
腹は減っとるし
ありがたく頂くん
じゃが


…だいたい
想像は
ついたがの…
今際の際に
流す涙は
他の者とは違う
ように見えたんじゃ


こういうのは
往々にして
自らが望んで
来るわけが
ないからの
どんないきさつが
あったかは
知らんが
さぞ無念
だったろうのぅ


それに応えて
やるワケでも
ないんじゃが


そういう時は
供物の匂いを
頼りに村まで
出かけていって
手前勝手な
村人ともども
この世から
消滅させて
やるのが常よ


ところで
おぬし…
…とまぁ
こんなところ
かのぅ…


え…？
な…
なんの
ことで…？

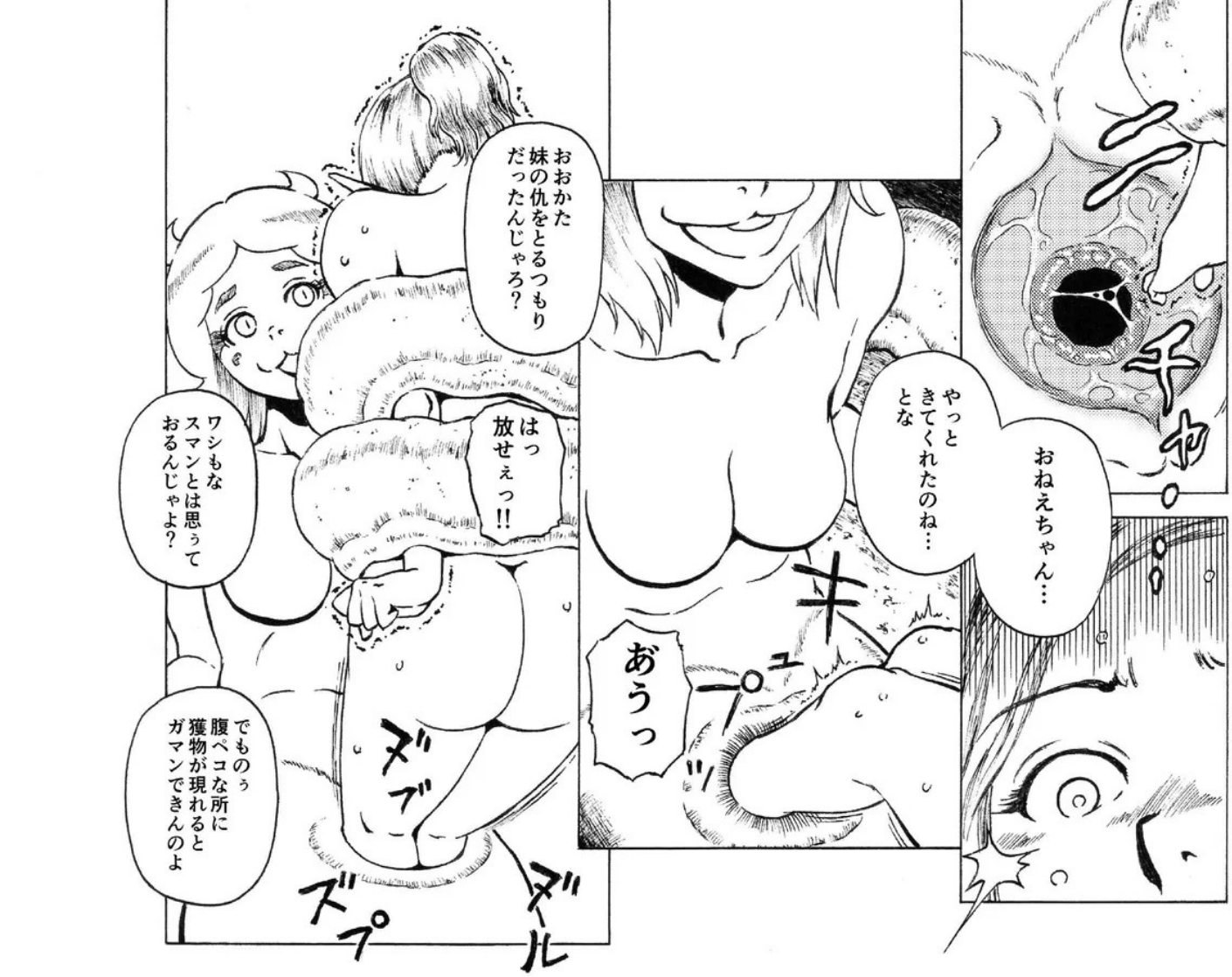

そろそろ
お遊びは
やめて
本題に
入ったら
どうじゃ？


ひっ…
かわら版などと
ぬかしよって…
ズ
ル
やっ…
ズ
ル
ル
ル
ル
目的が
別にあることなぞ
とうに見通して
おるわい
あの…
ちょっと…
一介の
かわら版の
書き手が
なにゆえ…


そんな武器を
隠し持って
おるのかのぅ？
よいよい
分かっとる
みなまで言うな
そ…
それは…！


おぬし…
あの迷い子の
姉であろう？
…!!


グイッ
やっ
やめろっ
おぬしをひと目
見た時から
ズリッ
いやっ
ワシと
ひとつになった
あの娘が囁き
よるのよ


おおかた妹の仇をとるつもりだったんじゃろ？
はっ放せぇっ!!
ワシもなスマンとは思うておるんじゃよ？
でものぅ腹ペコな所に獲物が現れるとガマンできんのよ
ズプ
ズプ
ダブル
おねえちゃん…
やっときてくれたのね…となー
あうっ
キュッ
チャ。


くっくそっ…こんな…
お前のような…ふざけた化け物に…妹は…!
そりゃ心外じゃのぅ　ワシゃふざけとりゃせんわさ
それはそうとおぬし…もうひとり妹がおるじゃろ？
なっ…!!
まっまさか…お前…!
おぬしらと同じぐらいかあるいはそれよりも
そっ


さぞかし旨いじゃろうのぅ
やっやめろっ
…ふづっ
グプ
んむっ…
グブ
クプ


ぐ〜〜っ
ぐん〜〜っ
ボコッ
ゴゴゴゴ
これはまたイキのいい暴れっぷりだわい
せいぜい暴れるがよいわ♪
暴れれば暴れるだけエサの旨味が増すからのぅ
ピチャ
ニチャ
ヌチャ
ズブ
ズルッ
くづっ
うづっ
良質なエサへの褒美として
大事な妹と再会させてやるかのぅ
仲良く眠るがよいわ…

•よのよ さん（俗称）•

◎人里離れた鍾乳洞とおぼしき奥深い洞窟に棲まう、
上半身が人間で腰から下がヘビの化け物。

とはいえ、その容姿は人にもヘビにもあるまじきものであり、
人智の及ばぬ力でこの世に生を受けたとしか考えられないが、
その出自を知る者は誰もいない。

◎普段から飄々とした態度で振る舞うが、それは相手（獲物）を
油断させるためでもあり、もしひとたび闘いとなれば、
長い蛇体部分やその尾先の鋭い針状の突起を使い、
獲物を締め上げる、突き刺すなどしてダメージを与え、
抵抗力を弱めたところでヒトとヘビとの境目付近にある
捕食口を開き、ゆっくりと味わいながら丸呑みにする。

◎呑まれた獲物は、養分として吸収されてしまうが、
その際に記憶等も一体化してしまうので、
それを頼りに次の行動を起こすこともある



なお、”よのよ”という奇妙なその名前の
由来を知ろうとする者は、
この世に生まれたことを後悔するぐらいに
情け容赦のないえらい目に遭うという
ウワサがあるが、詳細は不明である。



知る人ぞ知るいきさつで"よのよ"という名前で呼ばれるようになったウチのラミア。
今回は当初、いわゆるハーピー(鳥人)タイプのキャラと大バトルののちにハーピーをうまうまと…
というプロットでございましたが、かなりギリギリのタイミングで今の形に舵を切ることになりました。
その影響も(少なからず)あって主催さまにご迷惑をかけてしまったことを、お詫びする次第であります(_ _;;)

手に取って頂いた方に、
お買い上げくださった方に、
お読み頂いた方に、
そして、参加させて頂いた かなとふさんに感謝を…

・よみくま・

私のちょっとした発言から実現してしまったウチの子ラミア丸呑み合同、
絵描きのオリジナルラミア達による丸呑みというとても身内向けな本になりました(笑)
しかし、どのキャラクターもそれぞれの絵描きさんの特徴が十分に発揮されていて、
作品も個性的でありながらも魅力たっぷりな濃い合同誌になったと思います。
うちの子紹介も兼ねて各自設定ページを設けましたので、知らない人でも安心して
キャラクターの魅力を感じてもらえるのではないでしょうか？

初めての主催で至らない事ばかりな中、快く原稿を描いていただいたゲストの方々、
この合同誌を手に取って頂いた方皆様に感謝申し上げます！

かなとふ

奥付
誌名　:「ぽあ・ラミ～ウチの子ラミア丸呑み合同誌～」
発行日　:2021年2月5日
発行者　:かなとふ(サークル　燈風屋)
Twitter :knm_to_fu
PixivID　:19116803
連絡先　:ttkaname512@gmail.com
印刷会社:有限会社　ねこのしっぽ様(製本版)

※作品の無断使用・無断転載、アップロードは禁止します。
上記を破ったことによって生じた問題は全て、行為を行った本人が負う物とします。
The producer of this WORK prohibits sharing the WORK by the Wired network and the resale.

The Guests

オザワヨシ

ばんこく堂

よゐくま

※敬称略

